



校長室だより

第 2 2 号
(通算第75号)
令和4年9月7日(水)
大崎市立沼部小学校
校長 吉田 浩之

「ああ、またか」が恐ろしい ～交通安全に務めよう～

今朝、校内テレビ放送で朝会があり、子供たちに話した内容です。

夏休みが明けて、ぬまっちはやっぱりすてきだなと思っていることがあります。校長先生は毎朝昇降口で、みんなと挨拶を交わしています。挨拶をするときに、目と目を合わせて挨拶し、お辞儀をするお友達が増えてきたことです。これからも気持ちのいい挨拶を続けていきましょうね。

さて、今日は、「ああ、またか」が恐ろしい、という話をします。何の事だろうと思いますよね。交通安全に努めようという話です。9月21日から30日まで、全国秋の交通安全運動です。今年の交通安全運動では、みんなに関わる事としては2つのことが大事だよと言っています。一つ目は、夕暮れ時と夜間の歩行者事故防止。少しずつ日が短くなってきました。夕暮れ時など歩くときには反射材を身に付けることも大事だね。二つ目は、自転車の交通ルールをしっかりと守ろうということです。

2年生以上の皆さんには、去年の朝会でお話しました。校長先生は、若い頃、交通事故に遭って、左足の大腿骨、太ももの骨を骨折しました。7カ月も入院していたんです。骨折の時はギプスで固定することが多いのですが、太ももの骨はギプスをすることができません。そのため、この金属の棒を骨の中に入れて固定するという手術を受けました。事故に遭ったときは、足を骨折したのに頭も痛かったのです。痛くて、痛くてたまりませんでした。校長先生の家族やお友達にもとても心配を掛けてしまいました。事故に遭うと痛い思いをするのはその人だけではありません。周りの人も心が痛むのです。君たちにはこういう痛い思いをしてほしくないのです。



子供たちに見せた金属棒です。この棒が左大腿骨に入っていました。骨が固定された後に抜いた本物です。

毎日のように交通事故のニュースが飛び込んできます。あまりにも交通事故が多いので、身近で交通事故が起こっても、「ああ、またか。」という気持ちになっているとしたら、大変恐ろしいことです。

交通のきまりは誰でも知っている簡単なことです。しかし、「自分だけはいいだろう。」という気持ちで規則を守らない人がいるために事故は起こると思います。交通信号の「赤」は「止まれ」です。この時は、絶対に横断してはいけません。「青」は「渡ってもいいよ。」ということですが、「渡りなさい。」ということではありません。「青」でも右、左をよく見て、安全を確かめて渡ることが大切です。

これは今年の秋の全国交通安全運動のポスターです。「みんなの合言葉！横断歩道では必ず安全確認！」と書いてあります。安全確認をしっかりとやろうね。

あさって9日、金曜日に沼部小学校では、交通安全教室を行います。1・2年生は学校の周りを歩いて、道路の横断の仕方などを学びます。3年生以上は校庭で、安全に自転車運転ができるよう、自転車の乗り方の学習をします。校長先生は何度も言っています。「自分の命は自分で守る」ことが大切です。交通安全教室で自分を守るにはどうしたらいいのかな、としっかり考えながら学習に取り組んでほしいと思います。



子供たちに話した通り、9日に交通安全教室を開催します。3年生以上の保護者の皆さまには、子供たちの自転車持参についての御協力をよろしくお願いいたします。